

第12回 葉山一色海岸アート展 出展者プロフィール

 <p>井島健至 / Takeshi Ijima : 写真家</p> <p>1974年、福岡県生まれ。葉山在住。写真家。ライフワークとして「重力と球体」をテーマに各地への旅と撮影を続け、葉山での稲作を通して「文化と身体」を学び直す日々を送っています。</p>	 <p>佐野正子 / Masako Sano : デザイナー</p> <p>東京都大田区出身。グラフィックデザイナーを経てバッグデザイナーとして活動中。ライフワークとして学生時代に専攻していた銅版画を2012年から再開する。葉山在住。</p>
 <p>上野和典 / Kazunori Ueno : 画家</p> <p>1953年横須賀生まれ。サラリーマンを完全引退、一色海岸の近くにアトリエをつくって夢だった画家になりました。</p>	 <p>菅原恵利子 / Eiko Sugawara : 肩書不詳</p> <p>本業の映像制作を経て、葉山一色に移り住んだ頃から着物で暮らし、昔ながらの日本的な美と知恵を日常の中に取り入れた生活を自分の肉体で実験中。</p>
 <p>植松知祐 / Tomosuke Uematsu : 画家</p> <p>1979年東京生まれ。2003年多摩美術大学大学院美術研究科油画専攻修了。燦々と SUN 名残惜しい SUN また昇る SUN 日々潜む美を描いています。</p>	 <p>つがおか一孝 / Kazutaka Tsugaoka : イラストレーター</p> <p>四国の徳島出身。20代の後半、フライ・フィッシングに出会う。以後、思考の大半は釣りの事。アウトドア系の雑誌や書籍の表紙を多数制作。現在、葉山一色の海辺に在住。</p>
 <p>大山京子 / Kyoko Oyama : 版画家</p> <p>1974年 東京生まれ 1998年 創形美術学校版画科卒業 2000年 都内版画工房にて制作開始 2012年より葉山在住 土や草花を見つめ触れ感じる事を版画で表現しています。</p>	 <p>塚原洋子 / Yoko Tsukahara : 画家</p> <p>青山学院大学仏文科を卒業し、フランスに遊学。葉山の山の家で40年以上墨とアクリルの抽象作品を制作、今回は同じ作品を油彩画で表現。制作することは一自分探しの終わりのない旅</p>
 <p>春日泰宣 / Yasunobu Kasuga : 手透き紙作家</p> <p>ネパールで手漉き紙と出会い、作品を作り始める。葉山一色の古民家に暮らし、自然と共にある昔ながらの暮らしから見えてくる美しさを紙に重ね表現する。</p>	 <p>出口雄大 / Yudai Deguchi : 画家</p> <p>イラストレーション、グラフィックデザイン、店舗装飾、水彩画講師、本の執筆と幅広く横断的に仕事をしてきました。今はより本格的な絵画制作の道を探っています。</p>
 <p>鴻来有希 / Yuki Kourai : 画家</p> <p>1971年生まれ。「葉山の海水で描く、育てる絵画」を制作・発表。海や山の微生物……自然の力をおかりして描いています。葉山在住。</p>	 <p>中川彩香 / Ayaka Nakagawa : アーティスト</p> <p>多摩美術大学染織デザイン科卒業。ペイントと刺繍を組合せた作品や、陶器作品など様々な素材・技法で表現しています。葉山で生活している事が作品創りに大きく関係しています。</p>
 <p>さいとう とおる / Toru Saito : リサイクリャー</p> <p>プラスチックとコンピューターが象徴する時代の流れに共鳴し、海洋プラスチックごみを用いたランプなどのフィジカルな作品と、デジタル作品を合わせたハイブリッドな作品を制作しています。</p>	 <p>中島靖高 / Yasutaka Nakajima : 漆作家</p> <p>1972年 葉山生まれ 2001年 東京藝術大学大学院漆芸科修了 海で遊んでいる感覚で漆の作品を制作したいと思い、海に落ちている焼き物の破片達を繋ぎ合わせて、新しい器を創ろうと試みています。</p>
 <p>櫻井紀邦 / Kazukuni Sakurai : 画家</p> <p>1973年兵庫県尼崎生まれ。東京芸術大学油画科卒業。 2005年より葉山に住み、身近な風景や草花を描いています。</p>	 <p>ブルース・オズボーン / Bruce Osborn : 写真家</p> <p>「親子の日」オリジネーター。アメリカ生まれ。来日後、20年間住んだ東京を離れて葉山に引っ越したのは2003年。葉山の自然とスローな時間の中で、創作活動を楽しんでいます。</p>
 <p>佐藤正治 / Shoji Sato : 写真家</p> <p>1951年 新潟県生まれ。広告写真の傍ら、シルクロードなどを撮り始め、2002年より葉山・一色在住。現在は呼吸をするように、魂のおもむくままに写真を撮り続けている。</p>	 <p>ミヤジ シンゴ / Shingo Miyaji : フォトグラファー</p> <p>旅写真を中心に雑誌や広告の分野で活動。日常に見え隠れする美しい瞬間を未来に残すのが活動テーマ。日本人が長い休みを取れるような社会を作るのが夢。instagram : shingo_miyaji</p>

- 会期中は、名札をつけた出展者が交代で在廊します。お気軽にお声がけください。
- アート展来場者には、出展者のオリジナル缶バッジ（2025年版）をプレゼントします。（先着順、なくなり次第終了）
- 会期中の最新情報は、随時、FB ページなどの SNS で発信します。